



防火を呼びかけ演奏

春季全国火災予防運動

2月28日、商業店舗の駐車場（邑久町尾張）で、春季全国火災予防運動（3月1日～7日）に伴い太鼓などの演奏を、福田保育園幼年消防クラブ員が行いました。

「火事に気を付けて欲しい」との願いを込めて一生懸命演奏をする姿に、通りかかった買い物客も思わず立ち止まり、目を細めながら手拍子をしていました。また、拍子木に合わせ「子どもの火遊びやめようね」「たばこのポイ捨てやめましよう」などと大きな声で防火を呼び掛けました。

店舗入り口では、市職員らが火災予防や住宅用火災警報機設置の啓発チラシを配布しました。



福田保育園幼年消防クラブ員による演奏（左下）／啓発チラシを配布（右上）

興味のあることから活動をつなげる

コミュニティ活動推進フォーラム



講師の山崎亮氏（左上）／講演を聴く約210人の参加者ら（右下）

2月27日、ゆめトピア長船（長船町土師）で、県と市共催のコミュニティ活動推進フォーラム「どうしますか？ あなたの自治会！」を開催し、講師の山崎亮氏が、地域で継続的に活動していくコツなどについて講演を行いました。

参加者から、関心がない人を地域の活動に巻き込む方法について質問が寄せられると、山崎氏は「人は自分のやりたいことでないと乗ってこない。まずはしっかり話を聞いて、その人の興味があることを軸に活動を始めてもらう。それに地域が求めていることを加えていくと良い」などと答えました。

いつまでもお元気で

服部さんが満100歳に

2月20日に満100歳を迎えた服部正子さん（邑久町下山田）のお祝いに、土井和子保健福祉部長らが自宅を訪問しました。服部さんは家族に囲まれ、「ありがとうございます」と笑顔で祝い状を受け取りました。

野菜作りが趣味で、自分で食べるものは自分で作りたいとこだわってこられた服部さんは、今でも毎朝自家製野菜がたっぷり入った味噌汁を飲むことを欠かさないそうです。

1日3回はお経や禊払いを大きな声で唱えているという服部さん、これからますますお元気で過ごしてください。



祝い状が贈られた服部さん（写真中央）

寒空の下、力走する走者

瀬戸内市健康マラソン大会

2月17日、瀬戸内市体育協会主催の第8回瀬戸内市健康マラソン大会が邑久スポーツ公園とその周辺で開催され、市民ランナー約850人が参加しました。

寒空の下、沿道の観客からは、温かい声援で選手の力走を後押し。懸命に駆ける選手らは健脚を競いながらゴールを目指しました。

またタイム宣言レースや、衣装を着込んで走るパフォーマンスなども行われました。



全力で走り抜ける選手ら

野菜のおいしさを再発見

ベジもっとフェスタ



野菜の手量り体験（左下）／会場入り口付近で振る舞われた海鮮野菜鍋（右上）

2月16日、ゆめトピア長船（長船町土師）で、「ベジもっとフェスタ」を開催しました。地域でとれた魚介類と野菜などを使った海鮮野菜鍋が振る舞われ、また瀬戸内市発ブランドの先導作物でもあるレモンを使ったマフィンや素揚げした薄切り野菜の試食もあり、参加者らは野菜のおいしさを再発見していました。人形劇では、子どもたちに箸の正しい使い方を分かりやすく説明。食育クイズショーでは、子どもたちも参加して〇×クイズを通して、生活習慣病や野菜について理解を深めました。また野菜の手量り体験では、一日に必要な野菜の量を実際に手に取って確認していました。

郷土資料館ありがとう

人形劇とふるさとマナビDAY

1月26日、邑久郷土資料館（邑久町尾張）で、2月1日からの展示・収蔵資料の移転に伴う休館に先立ち「人形劇とふるさとマナビDAY」を開催しました。100人を越える親子連れらで満席になった会場では、人形劇を上演するアマチュア5劇団を代表して、西浦千万太さんが「郷土資料館ありがとう、人形劇の部屋長い間ありがとう、人形劇を見に来てくれた皆さんありがとう、という気持ちを込めて上演したいと思います」とあいさつ。その後次々と人形劇を上演しました。

資料の解説には約20人が参加し、市職員の展示品についての説明に聞き入っていました。



人形劇の上演（左下）／市職員による資料の解説に聞き入る参加者（右上）